

充実!!
「福祉・障害者施策」
「スポーツ・教育・国際交流」
「安心・安全・医療」

経験プラス刷新力

石川県議会議員

ひもの 義昭 よしあき

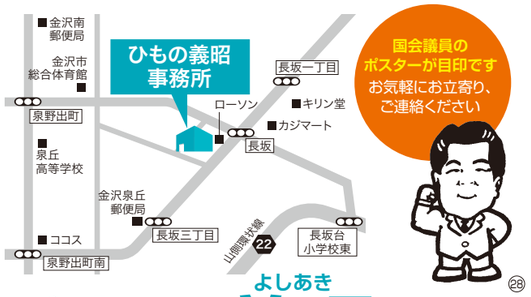
2026年
ひもの通信
初秋号

プロフィール

昭和30年9月9日金沢市内で生まれる。 現在71歳。
地元の市立十一屋小学校、野田中学校、県立金沢泉丘高校から早稲田大学政経学部に学ぶ。卒業後、森喜朗代議士の秘書となり、政治と地方議員の役割を学ぶ。「青年の政治参加」をスローガンに、**昭和58年4月金沢市議会議員**選挙に最年少記録27歳での初当選。
平成3年石川県議会議員に初当選、令和5年には**連続9期目当選。**
家族は妻と2人家族。(長男、次男夫婦独立)
平成20年、第89代石川県議会議長に就任。これまでに、県監査委員など、現在は日韓友好促進議員連盟会長、自民党石川県連副会長などを務める。過去に、幹事長(2度)、政調会長、組織広報本部長、青年局長などを務めた。

現在のおもな役職(抜粋)

- ●石川県都市計画審議会委員
- ●石川県音楽文化協会常任理事
- ●石川県障害者スポーツ協会 会長
- ●日本保育協会石川県支部・日本保育推進連盟顧問
- ●石川県宅地建物対策議員連盟顧問会代表
- ●野町、戸板、長坂台、十一屋校下町連相談役
- ●平和町連合町会相談役
- ●県有地(二日市地内)開発促進同盟会顧問
- ●石川県山林協会理事
- ●金沢保護司会理事
- ●石川県行政書士会顧問
- ●石川県薬剤師連盟顧問
- ●石川県馬事振興協会会長
- ●石川県ラグビーフットボール協会会長
- ●金沢日曜野球連盟顧問
- ●極真会館石川県支部筆頭顧問



よしあき
ひもの義昭 事務所
〒921-8116 金沢市泉野出町2丁目7-18
076-241-7744
【FAX】076-241-4764 info@himono-yoshiaki.jp
https://www.facebook.com/himonoyoshiaki
ホームページはコチラから ひもの義昭 検索

詳しい情報満載!ぜひご覧下さい。

「住んで良かった、これからも住み続けたい」と思える石川・金沢へ。

経験と実績、そして挑戦する力で、未来を切り拓きます!


自民党金沢支部長として街頭演説
(岡田参議院議員とアトリオ前で)

皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より温かいご支援とご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

現在、能登半島地震からの復旧・復興を最優先に、防災・減災対策の強化、子育て・教育環境の充実、地域経済の活性化など、県民生活に直結する課題の解決に全力で取り組んでおります。

一人ひとりの声を県政につなぎ、皆様の暮らしと地域の未来を守るため、初心を忘れず誠心誠意取り組んでまいります。今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

石川県議会議員
ひもの義昭

どんな小さな声でも必ず県政に届けます!

皆さんのご意見、ご要望を私にお伝えください。
全力で、実現に向けて頑張ります!!


令和8年6月定例会予算委員会で山野知事への質疑


二日市用地開発促進同盟会の知事陳情


林韓国新潟総領事と知事表敬



叙勲祝賀会で発起人代表としてご挨拶


旧知の小泉進次郎防衛大臣とともに


知事と国会議員との県政懇談会


自民党金沢支部 SNS勉強会(支部長)



県調理師会においてあいさつ(顧問)


西日本医科学生水泳大会表彰式



加賀豊年太鼓保存会の発表会で


自衛隊金沢駐屯地盆踊りで


平和町サマーフェスティバルで


野町地区サマーフェスティバル盆踊りで


尾張町あんやとまつりで
ふじ与会の皆さんと

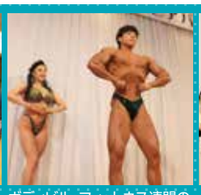


富樫校下のわいわい夏まつり
盆踊りでご挨拶

ひもの義昭 友の会だより

第41回ひもの義昭県政報告会
トロピカーナ・ビアパーティ
2026.7.29
金沢東急ホテル


今年も450名の皆さんにご出席いただきました。感謝!


ボディビル・フィットネス連盟の皆さん(私は副会長)


ビアパーティで孫たちからお花をもらいました



乾杯は坂本金沢市議会議長が代表して


メインテーブルの皆さんと


サプライズで夢Gの保科有里さんも



ほっと一息!友の会役員の皆さん

お知らせ お一人でも参加できます。お問い合わせください。

秋のゴルフコンペ
日時 2026年10月28日(水)
白山カントリークラブ 松風コース

秋の映画祭
日時 2026年11月28日(土) AM10:00~「Tokyoタクシー」上映
会場 石川県立美術館 大ホール

ボウリング大会
日時 2026年11月29日(日) AM10:00~
会場 レジャラン藤江


尾張町あんやと祭りで家族と

これまで県議会議員として9期36年間、石川県議会最多の118回質問（本会議場）に立ち、知事をはじめ執行部に提案、実行を求めてきました。



県議会35年永年勤続表彰 永年のご支援に感謝！


山野知事より石川県感謝状贈呈

石川県議会6月定例会本会議に先立ち、議員在職35年の永年勤続表彰が行われました。1991年の初当選以来、連続9期にわたり県政に携わることができました。日頃からお支えいただいている、皆様方に心より感謝申し上げます。
この35年間、多くの課題に向き合いながら、ふるさと石川県の発展のため微力ながら全力で取り組んでまいりました。今日まで元気に活動を続け、多くの仕事に携わることができたことを大変ありがたく感じております。引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。
皆様、本当にありがとうございました。

プレミアム・パスポートが「第1子」から利用可能に！

これまで、「プレミアム・パスポート事業」をさらに充実させるため、「対象を第1子世帯まで拡大すべき」「協賛店舗を増やし、制度をもっと広くPRすべき」と繰り返し提言してきました。
そして昨年11月から、対象がすべての子育て世帯へと拡大されました。これは、子育て家庭の経済的負担を軽減するだけでなく、「社会全体で子育てを応援する」という機運を広げる大きな一歩です。石川県は全国に先駆けてこの制度をスタートさせ、現在では約3,000店舗が協賛する全国屈指の子育て支援制度へと成長しています。
今後も、協賛企業・店舗のさらなる拡大と制度の充実を進め、子育てしやすい石川県の実現と少子化対策の前進に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。



まめだ簡易グラウンドが人工芝に！

戸板校下の皆さん、安心してください。
もう砂ぼこりは立ちません。

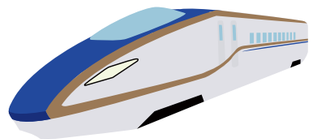
県議会で何度もこの問題を取り上げ、知事をはじめ県当局に人工芝化の必要性を訴え続けてきました。その結果、新年度予算に実施設計費が計上され、工事着工が実現しました。
馳前知事も「ぬかるんだグラウンドでプレーする少年たちを見るのは忍びない」と県議会で発言し、整備の必要性を認めていました。
人工芝化により、子どもたちは一年を通して快適な環境でプレーできるようになります。また、戸板地区の皆さんから寄せられていた砂ぼこりや洗濯物への影響も大きく改善されることが期待されています。
さらに、県サッカー協会では日本サッカー協会と連携し、クラブハウス整備も検討。サッカー環境はさらに充実し、県内有数の拠点となることが期待されます。
これからも皆様の声を県政に届け、「言うだけで終わらせない、実現する政治」を子どもたちの未来のために、そして地域の皆様の暮らしのために、一つひとつ課題を形にしていきます。



（戸板町会連合会 相談役、県サッカー協会顧問）

「京都桂川案」に決定 今こそ北陸が結束し早期着工を!!

北陸新幹線敦賀・新大阪間のルートが、小浜・京都ルートの「桂川案」に正式決定しました。長年停滞してきた議論が前進したことを歓迎するとともに、今後は一日も早い着工に向け、北陸が一致結束して取り組むことが重要です。
私は以前から、小浜・京都ルートこそ北陸と関西を一本で結ぶ国家百年の大計にかなうルートだと主張してきました。
ルートは正式に決まりました。京都府や京都市、地域住民の理解を得ながら着工への環境を整えることが重要です。
地下水や景観への懸念には科学的根拠に基づき誠実に対応すべきですが、日本の大動脈となる国家百年の大計を止め続けることは、将来振り返れば「千年の愚行」と評価されかねません。
千年の歴史を誇る京都だからこそ、次の千年を見据えた英断を期待します。



令和8年 石川県議会6月定例会 予算委員会質問 令和8年6月11日

新体制となって初めての県議会では、山野知事の県政運営に対する考え方を質しました。しかし、多くの答弁は「これから検討する」「関係者の意見を聞く」といった慎重な内容にとどまり、県民が期待する力強い一歩には、物足りなさも感じました。
能登の創造的復興、人口減少対策など、待ったなしの課題が山積しています。公約の実現に向けた明確な方向性とスピード感ある政策実行を強く期待するところです。

知事の基本的な政治姿勢について

県民が期待するのは、県政運営の変化そのもの！
県議会との関係構築について、どう考えているのか。
◎知事　執行部と議会は車の両輪。議員の皆さんには誠心誠意対応し、密に連携を図りたい。
前任者の何を引き継いで、何を変えるのか。
◎知事　行政は継続性が大切。骨格予算を大切にしながら現場で意見を聞き政策を進めたい。
選挙中の「知事に国とのパイプは必要ない」との発言の真意は、何か。
◎知事　必要ではないと言ったわけではなく、義的には国会議員の仕事という意味だ。
選挙公約に対する知事の責任は。
◎知事　達成状況を数字で表すことはしないが、進捗状況はしっかりと県民に報告したい。
「山野県政らしさ」とは一体どこにあるのか。
◎知事　強い危機感を持っている。百年の計にかかわることであり、県も努力したい。
高さ制限の見直しについて、今でも慎重な姿勢を示しているのか。
◎知事　高さを含め、建物の意匠や機能についてこだわっていく必要がある。

旧都ホテル跡地の再開発について

旧都ホテルの再開発では県が主体的立場で積極的に進めるべき！
提案説明にはなかったが、現在も再開発が進まないことをどう考えているのか。
◎知事　先を見据えて取り組むが、後から山野カラーと評価していただければありがたい。

消防学校を核とした総合的防災拠点について

災害が頻発する石川県における防災力の強化は待ったなし！
消防団員の処遇改善や装備の充実など、県が支援し、担い手確保に繋げるべき。
◎知事　消防団と有識者を交えた検討会を設置。団員確保、負担軽減など具体的な対応について議論している。


総合では顧問として経過説明

整備候補地の検討では、二日市町の県有地が最も有力との認識に変わりはないか。
◎知事　なんといっても地元の理解が必要。現在は、二日市町用地以外の有力候補地はない。

心身障害者医療費助成制度について

精神障害者2級への医療費拡大は公約、今さら時間をかける必要はないはずだ！
精神障害者保健手帳2級所持者への医療費拡大について、具体的に検討を進めよ
◎知事　現時点では判断できない。まずは市町と慎重に議論を重ねていきたい。
三月の知事選挙では山野知事も公約に掲げていた。責任をもって実現を！


支援団体役員の皆さんと石川県へ要望

ついに実現！小学校給食の全国無償化

訴え続けてきた政策が、いま形に

子育て世代の負担軽減と教育の機会均等の実現に向け、これまで一貫して「小学校給食の無償化」を主張してきましたが、この4月から実現。これまで県議会において、自治体ごとの対応の違いによる不公平感や、国の責任による制度化の必要性を繰り返し訴えてまいりました。
無償化は、子育て世帯の経済的負担の軽減、教育の機会均等の確保、さらには少子化対策にも資する重要な施策です。国には安定財源の確保、県には物価高騰への対応、市町には質の高い給食の提供といった、それぞれの役割が求められます。加えて、中学校への拡大など、今後の課題にも着実に取り組む必要があります。
これからも、現場で頑張る**学校栄養教諭・職員**や調理員の皆さんの声を踏まえた政策を前に進めてまいります。
（石川県学校栄養教諭・職員の会顧問）



改革へ前進 学校プールと水泳授業！

金沢市でも民間施設活用がスタート

学校での水泳授業は、水難事故から子どもたちの命を守るために欠かせない教育。一方で、学校プールは利用期間が限られ、維持管理費や老朽化、教員負担など多くの負担を抱えています。私はこれまで、民間スイミング施設活用の必要性を長年訴えてまいりました。天候に左右されず、専門的で質の高い指導が受けられるほか、学校現場の負担軽減にも繋がります。
金沢市では、今年度からモデル事業として、市内2校で民間施設を活用したプール授業が始まります。
子どもたちの安全確保と教育の質向上につながる新たな一歩として、今後も教育環境の充実に全力で取り組んでいきます。
（石川県水泳協会副会長）

